

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2021年12月21日から2031年10月20日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、実質的に中国国内で事業展開している企業の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 ニュー・チャイナ・マザーファンド 中国国内で事業展開している企業の株式
当ファンドの運用方法	■中国国内で事業展開している企業の中から、中長期的な運用視点に基づき、各種毎に競争力の強いエクセレント・カンパニーに厳選して投資します。 ■中国を代表する企業の新規公開にも着目し、選別投資することにより、より高い収益確保を狙います。 ■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ■実質的な運用はスミトモ ミツイ DS アセットマネジメント（ホンコン）リミテッドが行います。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 ニュー・チャイナ・マザーファンド ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
配分方針	■毎月20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■原則として、各計算期末の前営業日の基準価額（支払済み分配金（1万口当たり、税引前）累計額は加算しません。）に応じた金額の分配を目指します。ただし、分配対象額が少額な場合、各計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、当該計算期末の前営業日の基準価額に応じた金額の分配を行わないことがあります。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

ニュー・チャイナ・ ファンド （予想分配金提示型） 【運用報告書（全体版）】

第1作成期（2021年12月21日から2022年4月20日まで）

第 **1** 期 / 第 **2** 期 / 第 **3** 期
決算日2022年1月20日 決算日2022年2月21日 決算日2022年3月22日

第 **4** 期
決算日2022年4月20日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、実質的に中国国内で事業展開している企業の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

ニュー・チャイナ・ファンド（予想分配金提示型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) MSCIチャイナ インデックス(円ベース)		株式組入 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		期中 騰落率		
(設定日) 2021年12月21日	円 10,000	円 -	% -	100.00	% -	% -	百万円 1
1期(2022年1月20日)	10,234	0	2.3	104.22	4.2	88.8	7
2期(2022年2月21日)	10,056	50	△1.3	103.85	△0.4	94.6	7
3期(2022年3月22日)	8,890	0	△11.6	91.72	△11.7	92.0	7
4期(2022年4月20日)	9,174	0	3.2	96.85	5.6	91.7	11

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		(参考指数) M S C I チ ャ イ ナ インデックス(円ベース)		株式組入 比 率
			騰 落 率		騰 落 率	
第 1 期	(設 定 日) 2021年12月21日	円 10,000	% —	100.00	% —	% —
	12月末	10,255	2.6	101.97	2.0	91.0
	(期 末) 2022年1月20日	10,234	2.3	104.22	4.2	88.8
第 2 期	(期 首) 2022年1月20日	10,234	—	104.22	—	88.8
	1月末	10,010	△ 2.2	99.86	△ 4.2	85.8
	(期 末) 2022年2月21日	10,106	△ 1.3	103.85	△ 0.4	94.6
第 3 期	(期 首) 2022年2月21日	10,056	—	103.85	—	94.6
	2月末	9,640	△ 4.1	98.23	△ 5.4	93.8
	(期 末) 2022年3月22日	8,890	△ 11.6	91.72	△ 11.7	92.0
第 4 期	(期 首) 2022年3月22日	8,890	—	91.72	—	92.0
	3月末	9,186	3.3	97.68	6.5	92.0
	(期 末) 2022年4月20日	9,174	3.2	96.85	5.6	91.7

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比または期首比です。

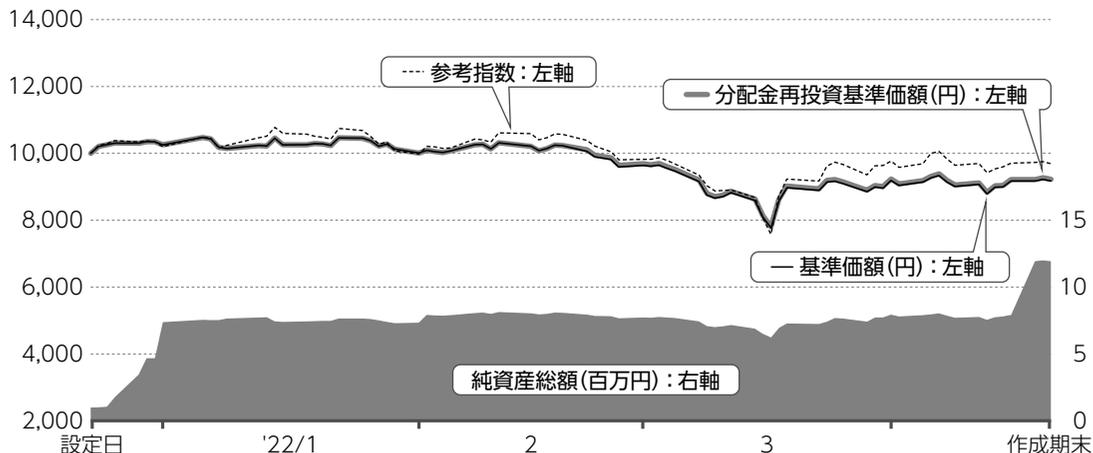
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2021年12月21日から2022年4月20日まで）

基準価額等の推移



設定日	10,000円
作成期末	9,174円 (当作成期既払分配金50円(税引前))
騰落率	-7.8% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、MSCIチャイナインデックス(円ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2021年12月21日から2022年4月20日まで)

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、実質的に中国国内で事業展開している企業の株式に投資しました。外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いませんでした。

上昇要因

- 通期で香港ドル高・円安となったこと

下落要因

- 2月中旬から期末にかけて、中国各地で新型コロナウイルスの感染が拡大したことやロシアによるウクライナへの侵攻などを受けて、香港株式市場が下落したこと

投資環境について（2021年12月21日から2022年4月20日まで）

香港株式市場（中国関連株）は下落しました。また、為替市場は、香港ドル高・円安となりました。

香港株式市場

香港株式市場は、12月のファンド設定日から2月中旬まで、概ね横ばいでした。しかし、その後は米国に上場する中国株の上場廃止リスクが再燃したことや、中国各地で新型コロナウイルスの感染が拡大したこと、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻などを受けて投資家のリスク回避の動きが強まり、期末にかけて軟調となりました。

為替市場

米ドル・円は、ファンド設定日から3月上旬まで1米ドル=115円を挟んだ動きが続きました。しかし、その後は、米国の政策金利見通しが大幅に引き上げられたことや、日銀が金利上昇を抑制するスタンスを示したことなどから日米金利差がさらに拡大するとの観測が強まり、期末にかけて円売り・米ドル買いが加速しました。

この期間、香港ドル・円も、概ね米ドル・円に沿った動きとなり、通期では香港ドル高・円安となりました。

ポートフォリオについて（2021年12月21日から2022年4月20日まで）

当ファンド

期を通じて、「ニュー・チャイナ・マザーファンド」を高位に組み入れ、運用を行いました。

ニュー・チャイナ・マザーファンド

●株式組入比率

株式組入比率は、期を通じて概ね高位の水準を維持しました。

●個別銘柄

引き続き、構造的な成長ドライバーを抱え、景気変動にかかわらず持続的な成長が見込ま

ニュー・チャイナ・ファンド（予想分配金提示型）

れる銘柄を中心とした運用を行いました。期間中は、中国におけるウェルス・マネジメント（富裕層向け資産管理サービス）需要の拡大が中長期的な業績拡大の追い風になるとの判断から招商銀行を購入しました。また、業績見通しが良好かつバリュエーション（投資価値評価）が割安なBOCアビエーションや太

平洋保険なども買入れました。

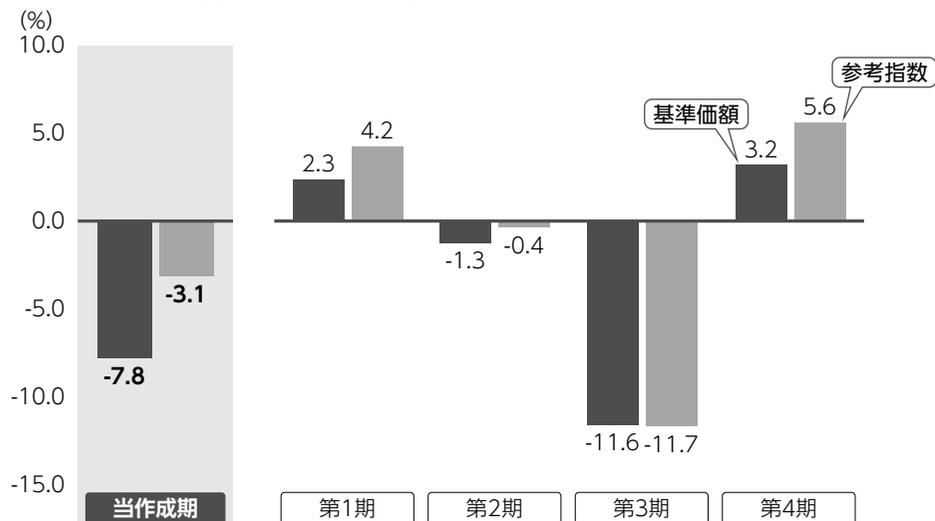
一方、規制強化による事業環境悪化への懸念からビリビリやネットイースなどを売却しました。米国政府による「未検証リスト」（用途が検証できないことを理由に輸出を制限する対象）の発表を受けて、薬明生物などバイオ関連銘柄も売却しました。

ベンチマークとの差異について（2021年12月21日から2022年4月20日まで）

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIチャイナインデックス（円ベース）を設けています。

以下のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の騰落率対比



※当作成期の基準価額は分配金再投資ベース、各期は分配金（税引前）込み。

分配金について（2021年12月21日から2022年4月20日まで）

期間の1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。
 なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第1期	第2期	第3期	第4期
当期分配金	0	50	0	0
（対基準価額比率）	（0.00％）	（0.49％）	（0.00％）	（0.00％）
当期の収益	-	-	-	-
当期の収益以外	-	50	-	-
翌期繰越分配対象額	234	94	0	2

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、「ニュー・チャイナ・マザーファンド」を主要投資対象とし、運用を行います。

ニュー・チャイナ・マザーファンド

ロシアによるウクライナ侵攻について、停戦への期待と戦闘の長期化への懸念が交錯しており、見通しは不透明です。中国経済や企業業績に対する影響としては、原油をはじめとする一次産品価格の上昇を通じてインフレを加速させるリスク、欧州経済の下振れなど、一定の警戒感をもって事態を注視する必要がありますが、直接の影響は現時点では限られ

ると考えています。米国では政策金利が今後も段階的に引き上げられると予想しますが、現在の中国の対外収支の基盤は強固であり、資金流出、為替安に繋がるリスクは限定的と考えます。また、中国独自のゼロコロナ政策も、秋の共産党大会に向けて社会経済活動を意識しつつ、徐々に柔軟なものになると考えられるほか、中国政府は金融政策などによる景気支援策にも積極的です。今後も中国の企業業績は回復基調を維持し、株式市場もそれに沿った動きを見込みます。

今後の運用方針としては、引き続き、中国で事業展開している企業のうち、競争力のあるエクセレント・カンパニーへの選別投資を進めます。中でも構造的な成長ドライバーを

抱え、景気変動にかかわらず持続的な成長が見込まれる分野の優良企業をポートフォリオの中核とする方針です。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

ニュー・チャイナ・ファンド（予想分配金提示型）

1万口当たりの費用明細（2021年12月21日から2022年4月20日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	61円	0.635%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は9,656円です。
（投信会社）	(39)	(0.402)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(21)	(0.219)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.014)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	10	0.099	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
（株式）	(10)	(0.099)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	5	0.050	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数
（株式）	(5)	(0.050)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(d) その他費用	4	0.037	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.023)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.001)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用(マザーファンドで支払った現地監査法人による中国QFII(適格国外機関投資家)口座にかかる監査費用を含みます。)
（その他）	(1)	(0.013)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	79	0.821	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

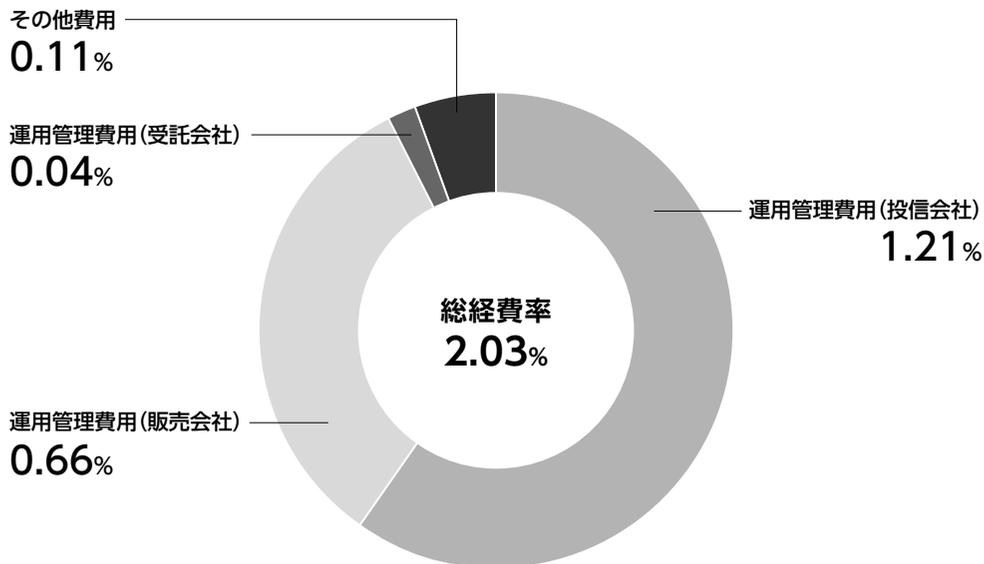
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率（年率換算）



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は2.03%です。

ニュー・チャイナ・ファンド（予想分配金提示型）

■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2021年12月21日から2022年4月20日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	当 作 成 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ニュー・チャイナ・マザーファンド	千口 1,329	千円 13,702	千口 94	千円 980

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2021年12月21日から2022年4月20日まで）

項 目	当 作 成 期
	ニュー・チャイナ・マザーファンド
(a) 作成期中の株式売買金額	13,624,001千円
(b) 作成期中の平均組入株式時価総額	24,197,947千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.56

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等（2021年12月21日から2022年4月20日まで）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

（2021年12月21日から2022年4月20日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 自社による当ファンドの設定・解約状況（2021年12月21日から2022年4月20日まで）

作成期首残高 (元 本)	当作成期設定 元 本	当作成期解約 元 本	作成期末残高 (元 本)	取 引 の 理 由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	当初設定時または 当初運用時における取得等

ニュー・チャイナ・ファンド（予想分配金提示型）

■ 組入れ資産の明細 (2022年 4 月20日現在)

親投資信託残高

種 類	作 成 期 末	
	口 数	評 価 額
ニュー・チャイナ・マザーファンド	千口 1,234	千円 11,949

※ニュー・チャイナ・マザーファンドの作成期末の受益権総口数は2,581,161,005口です。

■ 投資信託財産の構成

(2022年 4 月20日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
ニュー・チャイナ・マザーファンド	千円 11,949	% 100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1	0.0
投 資 信 託 財 産 総 額	11,950	100.0

※ニュー・チャイナ・マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建資産(24,540,150千円)の投資信託財産総額(24,987,547千円)に対する比率は98.2%です。

※外貨建資産は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=129.43円、1香港・ドル=16.50円、1台湾・ドル=4.426円、1中国・元=20.239円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年 1 月20日)

(2022年 2 月21日)

(2022年 3 月22日)

(2022年 4 月20日)

項 目	第 1 期末	第 2 期末	第 3 期末	第 4 期末
(A) 資 産	7,485,772円	8,000,563円	7,246,053円	11,950,715円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	-	639	750	1,529
ニュー・チャイナ・マザーファンド(評価額)	7,485,772	7,999,924	7,245,303	11,949,186
(B) 負 債	9,382	52,683	11,303	12,316
未 払 収 益 分 配 金	-	39,519	-	-
未 払 信 託 報 酬	9,361	13,111	11,221	12,203
そ の 他 未 払 費 用	21	53	82	113
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	7,476,390	7,947,880	7,234,750	11,938,399
元 本	7,305,325	7,903,996	8,137,842	13,013,316
次 期 繰 越 損 益 金	171,065	43,884	△ 903,092	△ 1,074,917
(D) 受 益 権 総 口 数	7,305,325口	7,903,996口	8,137,842口	13,013,316口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	10,234円	10,056円	8,890円	9,174円

※当作成期における作成期首元本額1,000,000円、作成期中追加設定元本額13,264,220円、作成期中一部解約元本額1,250,904円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

ニュー・チャイナ・ファンド（予想分配金提示型）

■ 損益の状況

項 目	（自2021年12月21日） 至2022年1月20日	（自2022年1月21日） 至2022年2月21日	（自2022年2月22日） 至2022年3月22日	（自2022年3月23日） 至2022年4月20日
	第1期	第2期	第3期	第4期
(A) 有価証券売買損益	△ 22,846円	△ 76,591円	△ 898,444円	249,933円
売 買 益	10,012	1,509	22,576	253,407
売 買 損	△ 32,858	△ 78,100	△ 921,020	△ 3,474
(B) 信託報酬等	△ 9,382	△ 13,143	△ 11,250	△ 12,234
(C) 当期損益金(A+B)	△ 32,228	△ 89,734	△ 909,694	237,699
(D) 前期繰越損益金	—	△ 31,118	△ 117,849	△ 998,941
(E) 追加信託差損益金	203,293	204,255	124,451	△ 313,675
(配 当 等 相 当 額)	(—)	(1,511)	(—)	(123)
(売 買 損 益 相 当 額)	(203,293)	(202,744)	(124,451)	(△ 313,798)
(F) 合 計 (C + D + E)	171,065	83,403	△ 903,092	△ 1,074,917
(G) 収 益 分 配 金	—	△ 39,519	—	—
次 期 繰 越 損 益 金 (F + G)	171,065	43,884	△ 903,092	△ 1,074,917
追 加 信 託 差 損 益 金	203,293	164,736	124,451	△ 313,675
(配 当 等 相 当 額)	(1,395)	(—)	(78)	(179)
(売 買 損 益 相 当 額)	(201,898)	(164,736)	(124,373)	(△ 313,854)
分 配 準 備 積 立 金	—	—	—	2,432
繰 越 損 益 金	△ 32,228	△ 120,852	△ 1,027,543	△ 763,674

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投資の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投資には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定を託した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託報酬の中から支弁している額は16,034円です。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第1期	第2期	第3期	第4期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円	0円	0円	2,432円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0
(c) 収益調整金	171,065	114,533	78	179
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	171,065	114,533	78	2,611
1万口当たり当期分配対象額	234.16	144.91	0.10	2.01
(f) 分配金	0	39,519	0	0
1万口当たり分配金	0	50	0	0

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第1期	第2期	第3期	第4期
		0円	50円	0円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

ニュー・チャイナ・マザーファンド

第20期（2020年10月21日から2021年10月20日まで）

信託期間	無期限（設定日：2001年10月22日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として中国国内で事業展開している企業の中から、中長期的な運用視点に基づき、各業種毎に競争力の強いエクセレント・カンパニーに厳選して投資します。 ・運用に当たっては、運用委託契約に基づき運用の指図に関する権限の一部をスミトモ ミツイ DS アセットマネジメント（ホンコン）リミテッドに委託します。 ・外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) MSCIチャイナインデックス		株式組入 比率	投資信託 証券組入 比率	純資産 総額
	円	期中 騰落率	(円ベース)	期中 騰落率			
16期(2017年10月20日)	86,713	46.3	561.81	46.1	95.1	1.3	百万円 20,911
17期(2018年10月22日)	68,349	△21.2	466.61	△16.9	90.4	—	17,912
18期(2019年10月21日)	76,380	11.7	486.50	4.3	89.8	—	19,258
19期(2020年10月20日)	107,900	41.3	636.62	30.9	97.5	—	20,777
20期(2021年10月20日)	114,766	6.4	638.22	0.3	92.7	—	29,061

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参考指数) MSCIチャイナインデックス		株 式 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	(円ベース)	騰 落 率		
(期 首) 2020年10月20日	円 107,900	% —	636.62	% —	% 97.5	% —
10月末	108,075	0.2	643.48	1.1	89.1	—
11月末	111,750	3.6	662.10	4.0	94.0	1.0
12月末	112,721	4.5	637.39	0.1	93.1	0.9
2021年1月末	126,539	17.3	721.38	13.3	87.1	0.8
2月末	130,249	20.7	741.79	16.5	90.7	1.6
3月末	122,384	13.4	704.27	10.6	88.2	1.7
4月末	123,725	14.7	710.27	11.6	93.3	1.1
5月末	124,493	15.4	698.63	9.7	88.3	1.1
6月末	126,596	17.3	714.80	12.3	88.8	1.8
7月末	114,214	5.9	614.77	△ 3.4	84.6	2.0
8月末	109,451	1.4	591.72	△ 7.1	85.8	2.0
9月末	106,418	△ 1.4	585.26	△ 8.1	94.8	1.9
(期 末) 2021年10月20日	114,766	6.4	638.22	0.3	92.7	—

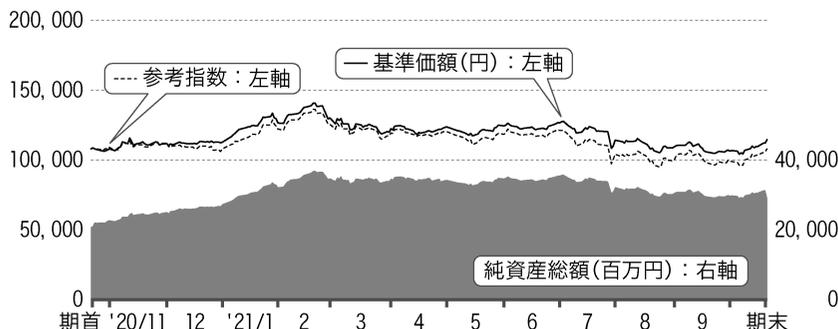
※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について (2020年10月21日から2021年10月20日まで)

基準価額等の推移



期首	107,900円
期末	114,766円
騰落率	+6.4%

※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、MSCIチャイナインデックス（円ベース）です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

▶ 基準価額の主な変動要因 (2020年10月21日から2021年10月20日まで)

当ファンドは、中国国内で事業展開している企業の中から、中長期的な運用視点に基づき、業種毎に競争力の強いエクセレント・カンパニーに厳選して投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- ・ 1月から2月中旬にかけて、米国での大型経済対策の成立や春節期間の消費拡大への期待などから、香港株式市場が上昇したこと
- ・ 通期で香港ドル高・円安となったこと
- ・ 環境や運輸関連で、成長期待が高まった保有銘柄が上昇したこと

下落要因

- ・ 2月下旬以降、米国の長期金利の上昇を背景に投資家心理が悪化し、インターネット関連など成長株を中心に、香港株式市場が軟調となったこと
- ・ 7月に入り、中国当局による配車サービス大手や学習塾業界に対する規制強化などをきっかけに、幅広い分野で政府介入が強まることへの警戒感が高まり、香港株式市場が下落したこと

▶ 投資環境について (2020年10月21日から2021年10月20日まで)

香港株式市場（中国関連株）は下落しました。また、為替市場は、香港ドル高・円安となりました。

香港株式市場

香港株式市場は、期初からしばらくは、中国の経済活動正常化への期待や米中対立激化への警戒感などが交錯する中、方向感に乏しい値動きとなりました。しかし、11月の米国大統領選で民主党のバイデン氏が勝利すると、米国の対中政策が融和的になるとの見方が強まり、また、米国での大型経済対策の成立や春節期間（2/11－2/17）の消費拡大への期待などから、市場は2月中旬にかけて上昇しました。

一方、2月下旬以降は、米国の長期金利の上昇を背景に投資家心理が悪化し、インターネット関連など成長株を中心に軟調となりました。また、7月に入り、中国当局が配車サービス大手D i D i（滴滴出行）に対し国家安全上の理由で審査を始めたことや、学習塾業界に対する規制強化が発表されると、幅広い分野で政府介入が強まることへの警戒感が高まり、市場は下落しました。その後も、不動産開発大手「中国恒大集団（エバーグランデ）」の債務問題に端を発する不動産市場全般や金融システムに対する不安、電力の供給制限による企業活動への悪影響など複数の悪材料が重なり、安値圏でのみ合いとなりました。

為替市場

米ドル・円は、期初もみ合いの後、1月から3月下旬にかけて、米国景気の回復や長期金利の上昇を受けて米ドル高・円安が進みました。その後9月中旬までは1米ドル＝110円近辺での落ち着いた推移となりましたが、9月下旬以降は、原油など商品価格の上昇を背景とした米国金利の上昇や、日本の貿易収支の悪化観測などから期末にかけて米ドル高・円安が進み、通期では米ドル高・円安となりました。

この期間、香港ドル・円も、概ね米ドル・円に沿った動きとなり、通期では香港ドル高・円安となりました。

▶ ポートフォリオについて (2020年10月21日から2021年10月20日まで)

株式組入比率

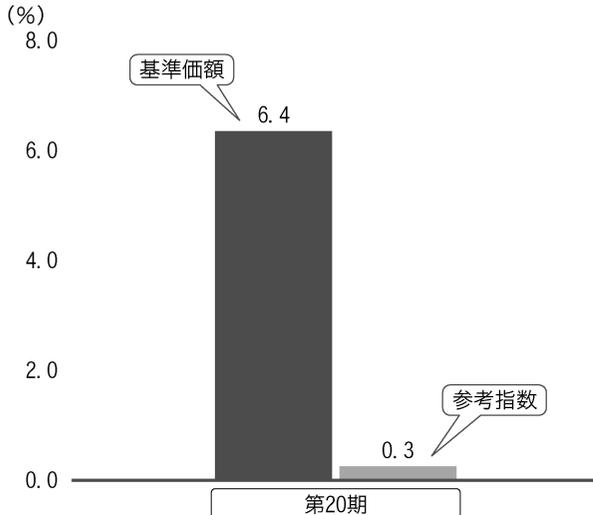
株式組入比率は、期を通じて概ね高位の水準を維持しました。

個別銘柄

引き続き、構造的な成長ドライバーを抱え、景気変動にかかわらず持続的な成長が見込まれる銘柄を中心とした運用を行いました。期間中は、規制強化による事業継続リスクの高まりを受けてTALエデュケーション（消費者サービス）やアリババ・グループ・ホールディング（小売）、カントリー・ガーデン・サービス（不動産）などを売却する一方で、中長期的な業績見通しが良好なビリビリ（メディア・娯楽）やAIAグループ（保険）、創科実業（資本財）などを組み入れました。また、太陽電池用の単結晶シリコンウエハ世界最大手の隆基緑能科技（半導体・半導体製造装置）や、太陽光発電用インバーターや蓄電システム分野において高いシェアを有する陽光電源（資本財）など環境関連の有力銘柄の新規組入れも行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2020年10月21日から2021年10月20日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIチャイナインデックス（円ベース）を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

2 今後の運用方針

中国では電力の供給制限の影響などもあり、経済活動が短期的に鈍化している一方、新型コロナ対策は徹底されており、引き続き中期的には社会・経済活動の正常化が見込まれます。中国企業の業績はこれまで急回復を見せた後、足元では下方修正も増えており、株式市場は短期的に上値の重い動きとなりそうです。しかしながら今後半年から1年といった時間軸で見れば、企業業績の増益は維持されると予想しており、それに沿った株価の上昇を見込みます。

今後の運用方針としては、引き続き、中国で事業展開している企業のうち、競争力のあるエクセレント・カンパニーへの選別投資を進めます。中でも構造的な成長ドライバーを抱え、景気変動にかかわらず持続的な成長が見込まれる分野の優良企業をポートフォリオの中核とする方針です。

■ 1万口当たりの費用明細(2020年10月21日から2021年10月20日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	662円 (651) (11)	0.560% (0.550) (0.010)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	300 (293) (7)	0.253 (0.247) (0.006)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	110 (74) (30) (6)	0.093 (0.063) (0.025) (0.005)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用：現地監査法人による中国QFII（適格国外機関投資家）口座にかかる監査費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	1,072	0.906	

期中の平均基準価額は118,284円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2020年10月21日から2021年10月20日まで)

(1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	ア メ リ カ	百株 10,219 (4,383)	千アメリカ・ドル 69,010 (-)	百株 13,970	千アメリカ・ドル 51,180
	香 港	百株 780,956 (2,570)	千香港・ドル 1,848,976 (△561)	百株 946,531	千香港・ドル 1,593,500
	台 湾	百株 54,570	千台湾・ドル 972,491	百株 31,070	千台湾・ドル 486,483
	中 国	百株 141,502.42 (2,667.91)	千中国・元 624,331 (-)	百株 199,745.33	千中国・元 731,580
	中国(オフショア)	百株 67,334.87	千オフショア・人民元 203,005	百株 64,808.77	千オフショア・人民元 146,384

※金額は受渡し代金。

※()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

(2) 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外国	香 港	LINK REIT	口 781,900	千香港・ドル 57,239	口 781,900	千香港・ドル 52,615

※金額は受渡し代金。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年10月21日から2021年10月20日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	94,972,069千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	27,915,238千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	3.40

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等(2020年10月21日から2021年10月20日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2020年10月21日から2021年10月20日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細(2021年10月20日現在)

外国株式

銘 柄	期首(前期末)		期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
BAIDU INC - SPON ADR	221	258	4,618	529,615	メディア・娯楽
YUM CHINA HOLDINGS INC	308	406	2,479	284,295	消費者サービス
TRIP.COM GROUP LTD-ADR	1,062	—	—	—	消費者サービス
TAL EDUCATION GROUP- ADR	323	—	—	—	消費者サービス
HUAZHU GROUP LTD-ADR	—	730	3,574	409,959	消費者サービス
BILIBILI INC-SPONSORED ADR	—	1,152	9,303	1,066,931	メディア・娯楽
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	1,914 4	2,546 4	19,975 —	2,290,801 <7.9%>
(香港)	百株	百株	千香港・ドル	千円	
CHINA MERCHANTS PORT HOLDING	—	35,380	47,621	702,416	運輸
CHINA VANKE CO LTD-H	5,282	—	—	—	不動産
CHINA RESOURCES BEER HOLDING	7,960	5,240	31,230	460,648	食品・飲料・タバコ
SHENZHEN EXPRESSWAY CO-H	22,660	—	—	—	運輸
TENCENT HOLDINGS LTD	2,445	3,073	153,342	2,261,804	メディア・娯楽
COUNTRY GARDEN SERVICES HOLD	6,980	—	—	—	不動産
MEITUAN-CLASS B	3,506	2,451	70,000	1,032,508	小売
CNOOC LTD	18,340	—	—	—	エネルギー
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	4,700	—	—	—	小売
WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC	—	1,645	19,394	286,069	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ANHUI CONCH CEMENT CO LTD-H	—	8,125	34,287	505,740	素材
JD.COM INC - CL A	1,432	5,075	163,922	2,417,856	小売
NETEASE INC	1,375	4,759	73,003	1,076,795	メディア・娯楽
CHINA TOWER CORP LTD-H	95,300	—	—	—	電気通信サービス
WUXI APPTec CO LTD-H	1,581	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NONGFU SPRING CO LTD-H	—	5,408	20,361	300,326	食品・飲料・タバコ
TOWNGAS CHINA CO LTD	—	49,990	22,995	339,182	公益事業
CHINA RESOURCES GAS GROUP LT	7,740	9,820	38,543	568,516	公益事業
AIA GROUP LTD	—	7,424	66,407	979,513	保険
SITC INTERNATIONAL HOLDINGS	16,970	—	—	—	運輸

ニュー・チャイナ・マザーファンド

銘柄	期首(前期末)	期末			業種等	
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
GUANGDONG INVESTMENT LTD	21,340	—	—	—	公益事業	
YUEXIU PROPERTY CO LTD	54,540	—	—	—	不動産	
TECHTRONIC INDUSTRIES CO LTD	—	1,220	19,666	290,079	資本財	
SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP	—	2,698	46,378	684,084	耐久消費財・アパレル	
LI NING CO LTD	5,000	—	—	—	耐久消費財・アパレル	
SUNNY OPTICAL TECH	1,441	4,475	94,154	1,388,771	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
CHINA LIFE INSURANCE CO-H	10,220	—	—	—	保険	
ENN ENERGY HOLDINGS LTD	—	1,635	19,243	283,848	公益事業	
ZHUZHOU CRRC TIMES ELECTRIC	—	4,868	19,009	280,390	資本財	
SUN ART RETAIL GROUP LTD	16,900	—	—	—	食品・生活必需品小売り	
LONGFOR GROUP HOLDINGS LTD	8,140	—	—	—	不動産	
BOC AVIATION LTD	3,329	2,175	14,844	218,954	資本財	
WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC	1,285	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	318,466 23	155,461 18	954,407 —	14,077,508 <48.4%>	
(台湾)	百株	百株	千台湾・ドル	千円		
ASE TECHNOLOGY HOLDING CO LT	—	3,530	34,735	142,900	半導体・半導体製造装置	
DELTA ELECTRONICS INC	—	1,520	39,368	161,959	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	1,840	4,060	243,600	1,002,170	半導体・半導体製造装置	
UNIMICRON TECHNOLOGY CORP	—	2,980	42,167	173,475	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
TRIPOD TECHNOLOGY CORP	—	13,250	150,387	618,694	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,840 1	25,340 5	510,257 —	2,099,200 <7.2%>	
(中国)	百株	百株	千中国・元	千円		
SUNGROW POWER SUPPLY CO LT-A	—	1,000	16,050	288,351	資本財	
LONGI GREEN ENERGY TECHNOL-A	—	7,154.6	60,806	1,092,445	半導体・半導体製造装置	
SHANGHAI INTERNATIONAL AIRPORT CO LTD	1,810	—	—	—	運輸	
SHENGYI TECHNOLOGY CO LTD -A	5,806	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
KWEICHOW MOUTAI CO LTD-A	275.63	387.63	70,245	1,262,017	食品・飲料・タバコ	
HUAYU AUTOMOTIVE SYSTEMS COMPANY-A	5,792	—	—	—	自動車・自動車部品	
HONGFA TECHNOLOGY CO LTD-A	—	9,178	64,659	1,161,650	資本財	
GREE ELECTRIC APPLIANCES I-A	2,593	—	—	—	耐久消費財・アパレル	
ZHEJIANG SANHUA INTELLIGEN-A	6,989.91	—	—	—	資本財	
PING AN INSURANCE GROUP CO-A	5,975	—	—	—	保険	
JIANGSU YOKE TECHNOLOGY-A	1,054	2,685.01	20,016	359,616	素材	
CHINA TOURISM GROUP DUTY F-A	756.89	—	—	—	小売	
LEPU MEDICAL TECHNOLOGY-A	7,549.38	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
CENTRE TESTING INTL GROUP-A	8,968.53	—	—	—	商業・専門サービス	
AIER EYE HOSPITAL GROUP CO-A	9,555.1	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
YANTAI JEREH OILFIELD-A	—	5,426	27,786	499,207	エネルギー	
LUXSHARE PRECISION INDUSTR-A	2,876.8	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ZHONGJI INNOLIGHT CO LTD-A	2,761	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
MIDEA GROUP CO LTD-A	—	2,171	15,170	272,558	耐久消費財・アパレル	

ニュー・チャイナ・マザーファンド

銘柄	期首(前期末)		期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
SANGFOR TECHNOLOGIES INC-A	668.67	1,362.67	31,137	559,401	ソフトウェア・サービス	
CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A	877	641	37,857	680,139	資本財	
SHENZHEN MINDRAY BIO-MEDICAL-A	891	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
GUANGDONG SOUTH NEW MEDIA-A	1,389.6	—	—	—	メディア・娯楽	
BEIJING SINNET TECHNOLOGY-A	15,521	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
FOSHAN HAITIAN FLAVOURING -A	—	1,731.6	20,051	360,248	食品・飲料・タバコ	
MONTAGE TECHNOLOGY CO LTD-A	2,606	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
BEIJING KINGSOFT OFFICE SO-A	—	1,602	42,989	772,343	ソフトウェア・サービス	
THUNDER SOFTWARE TECHNOLOGY-A	2,080	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
YUNNAN ENERGY NEW MATERIAL-A	2,118	—	—	—	素材	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	88,914.51 22	33,339.51 11	406,771 —	7,307,980 <25.1%>	
(中国(オフショア))		百株	百株	千オフショア・人民元	千円	
CHINA TOURISM GROUP DUTY F-A	—	2,526.1	—	65,456	1,176,701	小売
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	2,526.1 1	65,456 —	1,176,701 <4.0%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	411,134.51 50	219,212.61 39	— —	26,952,192 <92.7%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

■ 投資信託財産の構成

(2021年10月20日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株	千円	%
株	26,952,192	84.3
コール・ローン等、その他	5,028,688	15.7
投資信託財産総額	31,980,880	100.0

※期末における外貨建資産(31,564,160千円)の投資信託財産総額(31,980,880千円)に対する比率は98.7%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=114.68円、1香港・ドル=14.75円、1台湾・ドル=4.114円、1中国・元=17.965円、1オフショア・人民元=17.976円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年10月20日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	34,880,880,422円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	5,009,618,893
株 式 (評 価 額)	26,952,192,164
未 収 入 金	2,900,000,000
未 収 配 当 金	19,069,365
(B) 負 債	5,819,463,024
未 払 金	2,912,676,388
未 払 解 約 金	2,902,614,189
そ の 他 未 払 費 用	4,172,447
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	29,061,417,398
元 本	2,532,242,788
次 期 繰 越 損 益 金	26,529,174,610
(D) 受 益 権 総 口 数	2,532,242,788口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	114,766円

※当期における期首元本額1,925,631,414円、期中追加設定元本額1,052,279,190円、期中一部解約元本額445,667,816円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

三井住友・ニュー・チャイナ・ファンド	2,378,512,754円
三井住友・A株メインランド・チャイナ・オープン	23,358,497円
Dニュー・チャイナ・ファンド	130,371,537円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ お知らせ

<約款変更について>

- ・ベビーファンドの償還に伴い、運用の指図に関する権限の一部委託にかかる費用の計算根拠を一部変更するため、信託約款付表に所要の変更を行いました。(適用日：2021年7月9日)

■ 損益の状況

(自2020年10月21日 至2021年10月20日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	351,320,292円
受 取 配 当 金	348,585,619
受 取 利 息	295,640
そ の 他 収 益 金	2,818,044
支 払 利 息	△ 379,011
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	616,533,099
売 買 益	8,793,552,386
売 買 損	△ 8,177,019,287
(C) そ の 他 費 用 等	△ 30,598,106
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	937,255,285
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	18,851,869,872
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 4,687,237,165
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	11,427,286,618
(H) 合 計 (D + E + F + G)	26,529,174,610
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	26,529,174,610

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※その他費用等には、現地監査法人による中国QFII(適格国外機関投資家)口座にかかる監査費用(8,496,590円相当)や保管費用等を含めて表示しています。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。